

## 第 3 2 回建設業経理士検定試験 2 級試験問題

### < 第 3 問 >

現場技術者に対する従業員給料手当（工事間接費）に関する次の<資料>に基づいて、下記の問に解答しなさい。

#### <資料>

- |     |                    |                                                         |
|-----|--------------------|---------------------------------------------------------|
| (1) | 当会計期間の従業員給料手当予算額   | ¥ 78,660,000                                            |
| (2) | 当会計期間の現場管理延べ予定作業時間 | 34,200 時間                                               |
| (3) | 当月の工事現場管理実際作業時間    | No.101 工事 350 時間<br>No.201 工事 240 時間<br>その他の工事 2,100 時間 |
| (4) | 当月の従業員給料手当実際発生額    | 総額 ¥ 6,200,000                                          |

問 1 当会計期間の予定配賦率を計算しなさい。なお、計算過程において端数が生じた場合は、円未満を四捨五入すること。

問 2 当月の No.201 工事への予定配賦額を計算しなさい。

問 3 当月の配賦差異を計算しなさい。なお、配賦差異については、借方差異の場合は「A」、貸方差異の場合は「B」を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

※ 次ページより解説があります。

< 第3問の解説 >

現場技術者に対する従業員給料手当（工事間接費）に関する次の<資料>に基づいて、下記の問に解答しなさい。

<資料>

- |                        |                                                         |
|------------------------|---------------------------------------------------------|
| (1) 当会計期間の従業員給料手当予算額   | ¥ 78,660,000                                            |
| (2) 当会計期間の現場管理延べ予定作業時間 | 34,200 時間                                               |
| (3) 当月の工事現場管理実際作業時間    | No.101 工事 350 時間<br>No.201 工事 240 時間<br>その他の工事 2,100 時間 |
| (4) 当月の従業員給料手当実際発生額    | 総額 ¥ 6,200,000                                          |

問1 当会計期間の予定配賦率を計算しなさい。なお、計算過程において端数が生じた場合は、円未満を四捨五入すること。

解説

$$¥ 78,660,000 \div 34,200 \text{ 時間} = ¥ 2,300 / \text{時間}$$

問2 当月の No.201 工事への予定配賦額を計算しなさい。

解説

$$¥ 2,300 \times 240 \text{ 時間} = ¥ 552,000$$

問3 当月の配賦差異を計算しなさい。なお、配賦差異については、借方差異の場合は「A」、貸方差異の場合は「B」を解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

解説

$$\begin{aligned} \text{予定} &= (350 + 240 + 2,100) \text{ 時間} \times ¥ 2,300 = ¥ 6,187,000 \\ \text{実際} &= ¥ 6,200,000 \end{aligned}$$

¥ 6,187,000 でいいと思っていたら、¥ 6,200,000 も必要だった。  
ということで、¥ 6,200,000 - ¥ 6,187,000 = ¥ 13,000 も余計な費用がかかった。

**費用**のホームポジションは借方なので、借方差異となります。